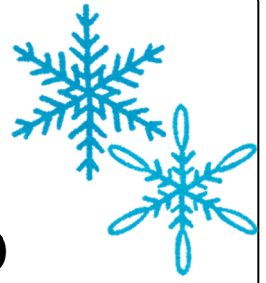


Finding You!



市立札幌開成中等教育学校 充実期6,7期生 通信
発行:令和3年3月5日 金曜日

No.6

“If you always do what you’ve done, you’ll always get what you’ve always got.”

ポリグロット(polyglots)という言葉を知っていますか。ポリグロットとは複数の言語を話せる人たちのことを指します。その定義は様々ですが、少なくとも3~4言語以上話せる人たちのことを指すようです。中には10言語以上話せる人たちもいます。たまたま聞き流していたTEDトークの中でポリグロットがどのように、なぜこれだけの言語をマスターできるのかが語られていて、とても興味が湧きました。

その中で語られていた大切な点は、ポリグロットは決して特別な才能がある人達ではない、ということです。そして彼らに共通している点は、言語学習のプロセスを楽しむ、ということです。そのプロセスは三者三様。自分が「楽しい!」と思える学習方法とその仕組みを自分で作ることが大切だと語られていました。ぜひ興味がある方は“**The secrets of learning a new language**”で検索して、動画を視聴してみてください。

“Language is not taught. Language is learned. (言語は教えられるものではない。学ぶものだ)”

これは言語学習に限らずとても大切な視点ですよ。そして何よりも、私自身忘れていた大切なことがあります。それは「**学びを楽しむ**」という気持ちです。学び方やその楽しみ方は人それぞれ。どれほど効率的だと推奨される方法であっても楽しみがなければ続きません。遠回りに見えても、非効率に見えても、楽しみながら毎日コツコツと続けることが、学習には何よりも大切です。

もしみなさんの中に「〇〇の学習がつまらない」と感じているのなら、こう自分に問いかけてください。「自分が楽しいと思える学習方法はないだろうか」。もしみなさんが、それを見つけることができたのなら、きっとその瞬間が人生のターニングポイントになるはずですよ。

“If you always do what you’ve done, you’ll always get what you’ve always got.”

今日から始めよう 君だけの挑戦を

充実期主任 黒井 憲



正しい勉強方法なんてありません。科学的に根拠があり効率的な学習方法や学習環境はありますが、それが「あなた自身に」フィットするとは必ずしも言えません。思考錯誤しながら、自分が時間も忘れて楽しめる学習方法を見つけてみよう。

いっちゃんれ winter cup (12/21~1/18)

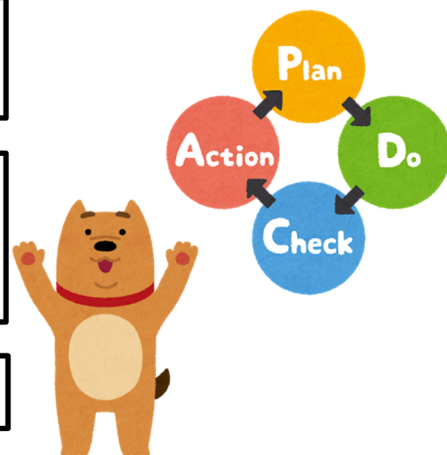
いっちゃんれ（一か月チャレンジ）いかがでしたか。3年生にとっては初めてのいっちゃんれでしたが、みなさんの振り返りを見て、とても有意義な時間だったんだなと思えました。振り返りの中で、いっちゃんれを達成する（継続する）ために必要な大切な点が書かれていましたので紹介します。

①目標達成の期限設定：期限を設けることで集中して取り組むことができる。何を達成したいのかも具体的に考えられる。

②目標の具体化：具体的な目標を設定することで、何をすれば良いかが明確になる。

③目標達成の手順（場所・時間など）：自分の生活の中に、どのように時間を組み込むかを考え、システムにすることで、目標達成の時間を確保することができる。

④Enjoyment!：とにかく楽しむための工夫を惜しまない。



次回のいっちゃんれ…だけでなく、日々の生活の中にこの4点を意識して欲しいなと思います。いっちゃんれはいつでもできます！ぜひ今日からまた始めてください。個人の実践についてはぜひ充実期の先生方に教えてください。

(4年生)SELF 式クラス替えが無事に終了しました！

本校では充実期の集大成として5年生、6年生の4クラスの編成を自分たちで考えます。このような取り組みを行っている学校は全国どこを探しても開成だけでしょう。6日間という限られた期間の中で、自分のネームカードを指定されたボードに貼ります。期間内であれば、何度も貼り替えることができます。2年間の未来の学校生活を想像しながら、そのクラスで自分がどのような貢献ができるか、またどのような役割となるかを考えながら過ごす6日間となりました。

様々な葛藤や迷いの中で、自分たちのクラスを作り上げた6期の皆さんを誇りに思います！クラス編成は以下の通りです。

S	E	L	F
40名 (男子20 女子20)	40名 (男子13 女子27)	35名 (男子25 女子10)	40名 (男子20 女子20)

コーチングで使われるタイプ分けには「コントローラー」「アナライザー」「サポーター」「プロモーター」の4つがあります。自分やクラス全体をタイプ分けすると見え方が変わってくるかもしれません。7期の皆さんも、来年度のクラス替えに向けて自己理解や他者理解を深めていきましょう！

